

FITを使う

(免疫学的便潜血検査)

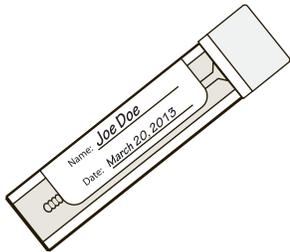
採便のしかた

食事制限や準備は必要ありません

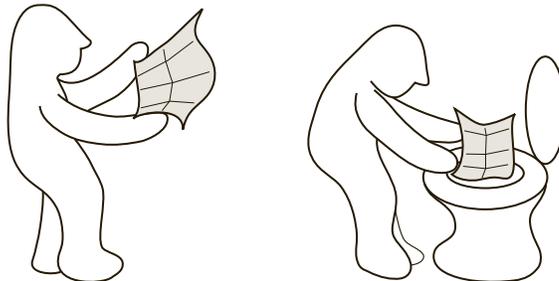
採便の用意ができれば、

採取後7日以内に提出してください。

ラボへ提出時にRequisition Form〔検査指示書〕も持参してください。



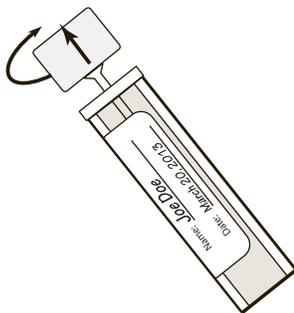
1. 採便管に表示されている氏名を確認します。
2. 採便した日付を記入します。



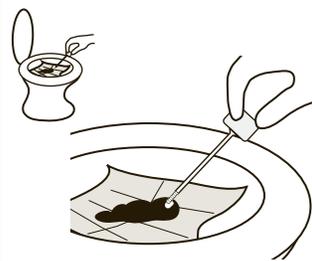
3. 採便シートを開き、便器内の水に浮かべます。(他の方法については裏面をご覧ください。)



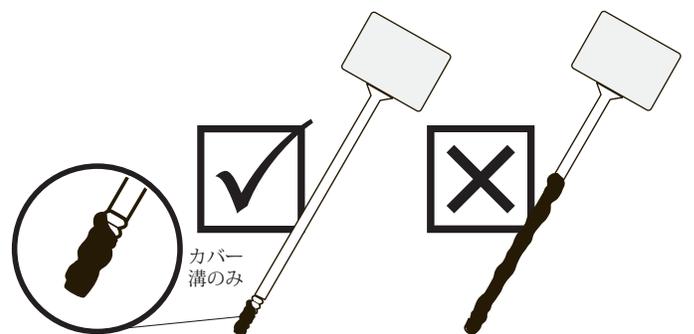
4. 採便シートの上に排便します。



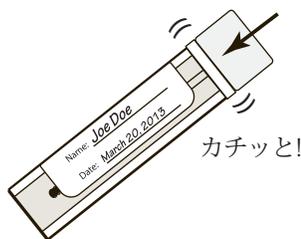
5. 採便管のキャップをねじりながら引き抜くようにして開けます。



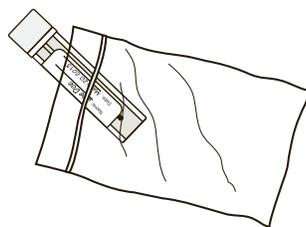
6. 便サンプルをねじ蓋の裏についている採便スティックで掻き出すようにして採取します。この時、スティックの先端の溝部分だけに便が付着するよう採取します。



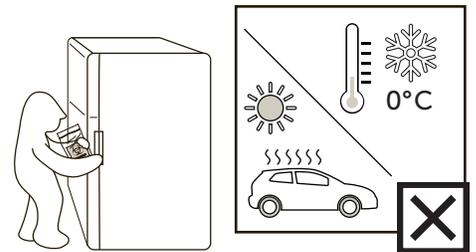
7. 便は少量だけが必要です。必ずスティックの先端の溝部分だけが便で隠れるように採取します。



8. スティックを容器に差し込み、容器のキャップをカチッと音がするまでしっかり閉めます。一度容器を閉めたら再度開けないでください。トイレを流し、手を良く洗います。



9. 採便管のみジプロックの袋の中に入れます。ジプロックの中には他のものを入れないでください。袋の外側にポケットがある場合は、レクジション・フォームをその中に入れ、必ずサンプルに添付します。



10. 採取後サンプルは(7日以内に)ラボに提出するまで冷蔵庫で保管します。フリーザーに入れないこと。検体が凍ったり、高温になる場所で保管しないでください。

検査結果については以下のような場合、検査不能となることがあります。

- 便の採取量が多すぎた場合
- 便が便器内で水または尿に触れた場合
- サンプルが凍った、または温度が上がりすぎた場合
- サンプルを7日以上経過してから提出した場合

よくある質問（FAQ）

便をどのくらい採取したらよいのですか？

極わずかの量だけが必要です。スティックの先端の溝部分のみに付着するように採取します。便の採取量が多すぎると、結果は検査不能となり、再度検査を受けなければなりません。

便のサンプルが便器内で尿や水に触れたらどうしたらよいですか？

サンプルは汚染されます。ラボへ行き新しい検査キットをもらってください。ヒント：先に放尿し、トイレを流してから便器内の水に採便シートを浮かべます。

他の採便方法 / 便サンプルが水に触れないようにするにはどうしたらよいですか？

キットに入っている採便シートを便器の水の上に敷きます。また便が沈まないようにトイレットペーパーを幾重にも折り畳んで便器内の水の上に敷くこともできます。トイレットペーパーを採便シートと組み合わせたり、または単独だけを使うこともできます。また紙皿など汚れていない使い捨ての容器を用いて採便することもできます。

採便シートは下水や汚水処理タンクに流しても問題ありませんか？

採便シートは生分解されるので汚水処理タンクに損害を与えることはありません。

検査前に食事内容を変えたり、薬の服用をやめる必要がありますか？

ありません。この検査に、食事制限をしたり、服用している薬を変えたりする必要はありません。

検査キットを使ってはいけないときがありますか？

血便が出たり、腹痛、排便習慣の変化、原因不明の体重減少が見られる場合、FITを行う前に必ずヘルスケア提供者と相談してください。血尿が出ている場合、ヘルスケア提供者と症状を話し合い、FITを行う時期を決めてください。生理中の場合、生理が終わるまで検査をしないでください。

非常に軟らかい便や硬い便からサンプルを採取できますか？

便が大変軟らかくても硬くてもサンプルを採取するのに支障はありません。軟らかい便がウイルスや食中毒に起因している場合、回復するまで検査を受けないでください。硬い便の場合、汚れていない使い捨て容器を使うとサンプルが採取しやすくなります。

検査はカナダポストで郵送できますか？

できません。検査キットは必ずラボへ持って行ってください。検査を終えるのに必要となる明確な手順があります。

未使用の検査キットには使用期限がありますか？

採便容器に使用期限が記載されています。必ずキットの使用期限までに検査を終わらせてください。キットを使った後、サンプルを7日以内にラボへ持って行ってください。

採便管には液体が入っていて良いのですか？

はい、中の液体は緩衝液で採取後のサンプルの運搬や分析に必要です。